

ITSUMIKAI

母校キャンパス案内



工学部

- 電子工学科……新1号館
- 電気工学科……新10号館
- 機械工学科……6号館
- 土木工学科……新2号館
- 建築学科……新3号館
- 経営工学科……新4号館

環境学部

- 環境デザイン学科……新3号館
21号館
- 電算センター……情報センター1F
- 工作センター……8号館
- 総合研究所……11号館
- (大学事務局……本館)

目 次

ご挨拶	1
第21回コンペ入選発表	2
第21回コンペ審査講評	5
親睦ゴルフ会報告	6
活動報告	7
五三会収支決算報告	8
卒業生就職・進学先一覧	9
五三会会則	11
教員及び非常勤講師名簿	13
第27回総会のお知らせ	14

ご挨拶

五三会会長 三 上 明 夫

会員の皆様、いかがお過ごしですか。

神戸に大地震が襲いかかり大惨事を招き、今なお余震が続発している状況の最中に、生活することを余儀無くされている方々が多くおられます。ついで新潟にその恐怖とこの上なき不安の輪は、なんの前触れもなく拡大されました。

今日起きた事、したことをあれこれ思い、あすの日あるであろう事、するであろう事を思い、語りのうちに眠りについた人々が、友達と遊び疲れて夢の世界へと旅たった子供達が、まだ眠りから覚めやらぬ間に、想像することも出来なければ、まして対処する術も思いつかないまま恐怖のどん底に叩き込まれる事は、人間の思考を遙かに越えた世界での現実です。これに似て憎むべき人為的行為として基本形を異にする事件が、東京で起きました。小選挙区制に変わって初めての選挙戦、立候補者のアピールカーから流れ出る呼び掛けもとんと耳に入って来ず、耳目は新聞・テレビ・週刊誌に釘付け状態の有様。今、何が起き、何が起ころうとしているのか知るのが怖いようです。でも地球上では、確実に何か起き、そして遠からず私たちの眼前にその姿を現して来るでしょう。我々は一体何を成していけば良いのでしょうか？

建築学科の最後を飾る28期生を残して、今年も夢多き後輩が仲間入りしました。孤立することは、現代において何等苦痛の対象にはなり得ないようです。

21th

ITSUMIKAI COMPETITION

第21回五三会コンペ入選発表

第21回五三会建築設計競技は、平成6年9月26日に応募締切を迎え、広島工業大学3作品、広島大学1作品、福山大学5作品の計9作品の力作が寄せられました。

審査会は第20回の一次審査会と同様、セミナー形式とし平成6年11月26日に広島工業大学広島校舎にて行い、審査をお願いした広島大学教授 小原誠先生による厳正な審査の結果、別記の通り各賞が決定しました。

入賞作となった皆さんおめでとうございます。

平成6年12月11日に広島県民文化センター地下1階の第二展示室にて行われました「四大学合同卒業設計展」会場内にて入賞作品の展示をし、表彰式並びに講評会を行いました。

表彰式並びに講評会では、四大学合同卒業設計展の運営にあたっておられる各大学の先生方をはじめ、学生の皆さんにこの設計競技の主旨をご理解頂き快くご協力いただきましたこと、実行委員一同厚くお礼申し上げます。また、文末ではございますが、小原誠先生におかれましてはご多忙の中審査、表彰式、講評会と多くのお時間を割いていただき誠にありがとうございました。今後益々のご活躍をお祈りいたしております。

優秀：金坂 浩史(福山大学大学院)
小村 治
平野 毅
原田 稔広
松田 政也

入選：山下 奉弘(広島工業大学)
石田 貴久

入選：坂田 晃一
(広島大学大学院)

入選：加藤 忠嘉(福山大学)
崎原 利克
上岡 幸司

佳作：竹田 陽介(福山大学)
小坂 浩
斎藤 大幹

第21回五三会建築設計競技実行委員会

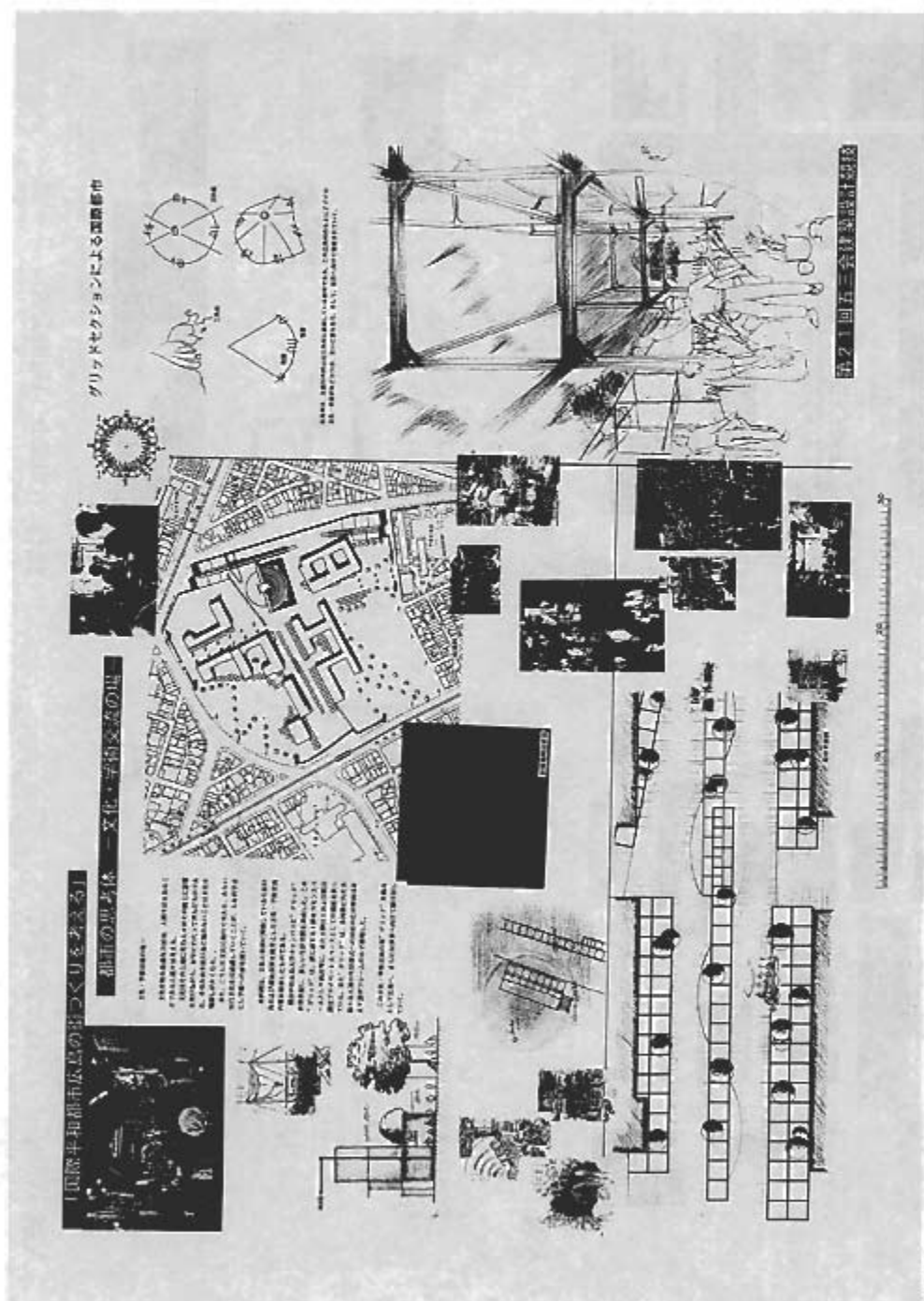
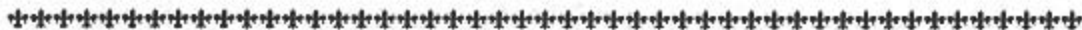
盛岡 隆治 藤井 秀幸 岡田 英治
弘津 貴司 早見 文子



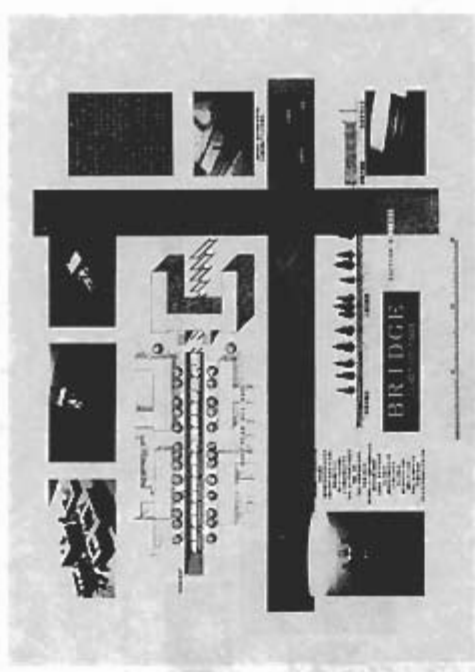
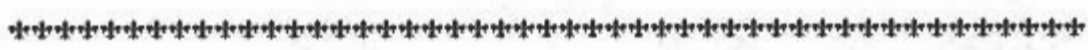
表彰式



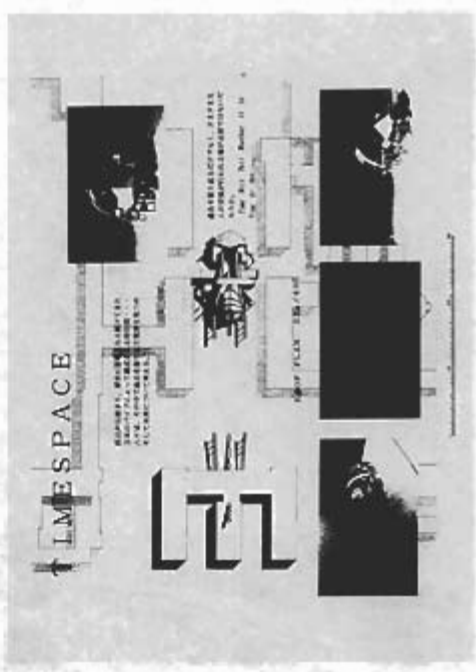
講評会



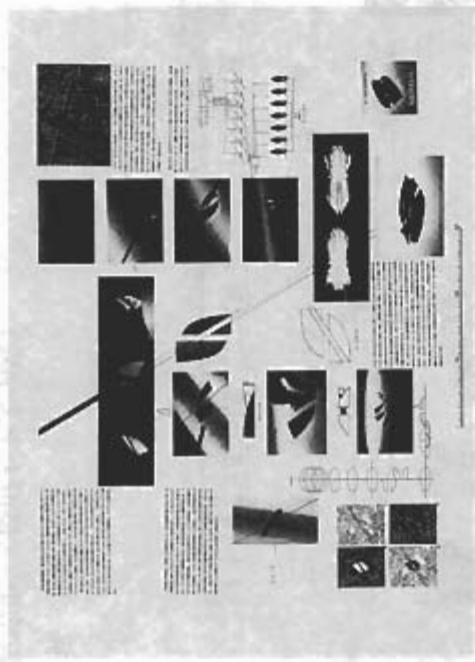
優秀
金坂浩史（福山大学大学院）



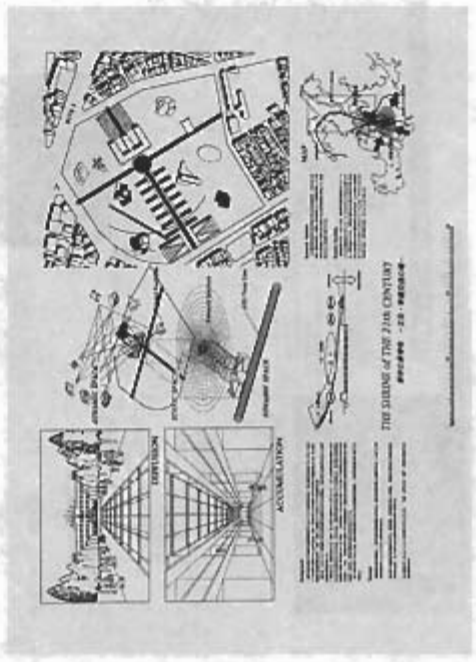
入選 加藤忠嘉 (福山大学)



佳作 竹田陽介 (福山大学)



入選 山下泰弘 (広島工業大学)



入選 坂田晃一 (広島大学大学院)

広島大学教授 小原 誠

広島大学の移転は市の中心部に二つの空白部を残した。一つは情報発信・文化形成の一拠点の喪失であり、一つは一万人をこえる生活の場が生み出していた消費市場の喪失である。とくに後者については地元商店会は危機感をつのらせている。さらに広島大学の跡地については被爆建物としての理学部本館の保存継承問題がある。今回のコンペにおいてはこれらについての提案が求められている。

金坂君等の作品は理学部本館を撤去し、新しい施設に置き換えた説明がないのは不満であるが、他の平凡な既存建物を連続するやぐらで絡ませ、使う人々の作り出す市民の交流と日常的な消費市場形成の場を誘導する仕掛けの提案に同感し優秀作とした。

山下君等の作品は、提案している文化交流の組織図に対して、建物の図面がないため盛り込むべき内容が伝わらない単なるイメージ作品であるが、軸線により分割された球面の架構の模型写真の訴求力に対して、坂田君の作品は、旧本館以外の校舎を整理して周辺部に分散配置したパビリオンは散漫であるが、旧本館と正面の軸線を残して計画した現実的提案として、同様に加藤君等の作品は、“橋”によってどれだけ文化交流が生まれるのかよく判らないが、旧本館を貫通する軸線を強烈に演出したデザインから周囲に何かが生まれていく可能性を予感させる点で、それぞれ評価して入選作とした。武田君の作品は、旧本館の軸線上においたメカニクな構造物がどのように文化交流の場として役立つのかよく判らないが、この周辺に新しい機能が再編成されるであろうコアとしての意義を認め佳作とした。

他の作品については、慰霊記念碑などの主旨のコンペなら相応しそうな作品もあったが、とくに広島大学跡地という場所性がなかったり、また文化交流の仕掛けとしての意

味が希薄であったりしたので選から外した。コンペには表現力と提案内容が相俟っていることが大切であるが、全体として表現に対して実態把握が弱いという印象を受けた。デザイナー志望者には感性だけでなく、現状把握と分析・再構成の能力を高めることを期待したい。



審査会

広工大・五三会親睦ゴルフ会 報告

秀 浦 忠 (不動建設株勤務)

建築学科創立30周年・建築学科同窓会五三会創立25周年記念事業の活動において、これまでほとんど交流のなかった建築学科の先生方と五三会との間に、交流の機会を得る事になり、今後もこの交流をつづけてゆく中の一つの場として、親睦ゴルフ会を設ける事となり、その第一回目が去る平成6年11月4日に行われました。

当日は好天とは言えず曇り時々晴れの絶好のゴルフ日和に恵まれ、先生方三名(当初七名の予定が諸事情により四名参加できず)と同窓生24名により、この会の世話をなされた大松恒一幹事(青木建設 勤務)の挨拶のあと、日頃の練習の成果と、仕事(?)の成果が競われました。

参加者は初級者から上級者までいろいろで、この会のためにゴルフを始められた方、ゴルフの合間に仕事を為される(?)方と千差

万別で、卒業後初めて会われた方、同窓とは知らずに建設現場で議論を戦わしていた方とかで、グリーン上、競技後のパーティー会場等で和気あいあいの交流が持たれました。

映えある第一回目の優勝者は広島市役所に勤務される佐川則行さんでした。同氏による優勝者の弁で「……云々、このゴルフ会が広工大・五三会はもとより同窓生の交流の輪をよりひろめるため、当会の発展に協力させていただきます。又、今後もみなさんのご協力をいただきながら広島 云々……。」との、すばらしい言葉をいただきました。

当親睦ゴルフ会は、年一回の開催を企画しており、建築学科のみならず、他学科の先生方の参加も予定しております。

五三會会員の皆さんの参加の連絡をお待ちしております。

順位	氏 名	GRS	HDCP	NET	順位	氏 名	GRS	HDCP	NET
1	佐川 則行	87	15.6	71.4	15	上之 博文	105	26.4	78.6
2	満見 和彦	101	28.8	72.2	16	柴田 亨三	101	21.6	79.4
3	中島 伸夫	93	19.2	73.8	17	森田 廣満	112	32.4	79.6
4	佐藤 立美	97	22.8	74.2	18	高橋 建二	114	31.2	82.8
5	渡辺 茂	97	22.8	74.2	19	吉川 澄夫	112	28.8	83.2
6	衣笠 准一	108	33.6	74.4	20	浜本 清衛	109	25.2	83.8
7	秀浦 忠	94	19.2	74.8	21	松本 孝志	111	26.4	84.6
8	大松 恒一	99	22.8	76.2	22	月橋 寿良	117	31.2	85.6
9	中村 裕	98	21.6	76.4	23	盛岡 隆治	132	36.0	96.0
10	小泉 昌三	110	32.4	77.6	24	山野 正晴	137	36.0	101.0
11	松本 隆司	91	13.2	77.8	25	高松 隆夫	150	36.0	114.0
12	高尾 康明	91	13.2	77.8	26	沖本 隆美	152	36.0	116.0
13	馬場 富蔵	89	10.8	78.2	27	菅原 辰幸	159	36.0	123.0
14	吉田 正輝	99	20.4	78.6					

五 三 会

活 動 報 告

「五三会」会員各位様におかれましては、
益々の御活躍のことと存じます。

「五三会」においても各記念事業も学科の
先生方はもとより皆様の御支援、御協力のも
とに無事終わることが出来ました。この場を
おかりして、お礼を申し上げます。

さて、建築学科の生徒も平成8年3月卒業
をもって最後の卒業生となります。

幹事会役員は、昨年、建築学科及び環境学
部の学生と意見交流の場をもつことが出来、
OBとしての社会的役割や働きぶりなど我々
OBが考えている以上の期待感があることが
感じられました。

将来の「五三会」の在り方、同窓会の意義、
建築学科OBの職能領域の広さなど踏まえ、
「五三会」としての会則の見直しや環境学部
学生との交流など、本年度見体的に取り組む
必要があります。

今後、会員皆さんに広く意見をいただけれ
ばと存じます。

尚一層の御協力をお願い致します。

平成6年度活動報告

1. 建築学科創立30周年・同窓会五三会創立
25周年記念事業
○記念誌卒業生名簿 平成6年7月発行
○記念祝賀会(平成6年5月21日全日空
ホテルにて)
2. 第22回五三会コンペ
3. 記念事業実行委員会の解散
4. 建築学科学生・環境学部学生との意見交
換会

平成6年度役員

- (会 長) 三上明夫(㈱KAZI建築設計工房)
(副 会 長) 森田洋生(広島市役所)
上之博文(㈱LAT環境設計事務所)
(会 計) 村上憲弘(㈱青木設計事務所)
松本孝志(広島市役所)
(会計監査) 下 健蔵(広島県庁)
三宅智之(広島県庁)
(書 記) 梶山孝之(梶山設計)
中島伸夫(㈱LAT環境設計事務所)
(幹 事 長) 下田卓夫(㈱アーバンプレーン)

五三会は、昭和58年度から終身会費制を導入
しており、会員のみ会報を発送させても
らっています。会費未払いの方及び未加入の
方は早急に手続きをお願いしたいと思います。
下記五三会事務局へ御連絡下されば振込
用紙をお送りさせていただきます。

〔五三会事務局〕

広島市佐伯区五日市町三宅二丁目1番1号
広島工業大学建築学科菅原研究室内
〒731-51 TEL(0829)21-3121

五三会収支決算報告

平成5年度収支決算報告

◆収入の部			(単位 円)
繰越	金	4,132,741	
新会	費	940,000	
広	料	670,000	
雑	入	1,807	
	(利息)		
そ	の	1,128,333	
の	他		
合	計	6,872,881	

◆支出の部			(単位 円)
印	刷	費	614,910
郵	送	費	172,988
会	議	費	21,710
銀	行	送	0
郵	局	振	8,390
コ	ン	ベ	0
在	学	生	0
バ	イ	ト	16,000
消	耗	品	0
記	念	事	200,000
雑	越	金	25,750
合	計	6,872,881	

平成6年度収支予算

◆収入の部		(単位 円)	
科目	小科目	金額	摘要
会費収入		900,000	90名×10,000
	新会費	900,000	
活動収入		1,000,000	
	広告料	1,000,000	
雑収入		5,000	
	利子収入	5,000	
積立金取崩収入		0	
	積立金取崩収入	0	
繰越金		5,813,133	
	終身会費基金	5,813,133	
合 計		7,718,133	

◆支出の部		(単位 円)	
科目	小科目	金額	摘要
管理費		470,000	
	総会費	100,000	
	会議費	150,000	
	バイト費	50,000	
	消耗品費	30,000	
	備品購入費	50,000	
	印刷費	40,000	
	通信費	40,000	
	雑費	10,000	
活動費		1,170,000	
	会報発行費	920,000	会報発行費内訳
	学術文化費	50,000	印刷費650,000
	入会者歓迎費	200,000	郵送費270,000
			(900部×300)
予備費		400,000	
	予備費	200,000	学生部会助成金
		200,000	記念事業経費
積立金		4,000,000	
	積立金	4,000,000	
繰越金		1,678,133	
合 計		7,718,133	

卒業生就職・進学先一覧

建築学科(デザイン) (86名)

氏名	就職(進学)先	氏名	就職(進学)先
○赤松 知明		○中島 修一	
○安達 伸一		○中野 恵美	
○荒川 直樹		○西森 健二	
○有原 直誠		○二村 英明	
○安藤 貴明		○二文字 規和	
○池田 薫久		○野田 耕司	
○石田 貴弘		○橋本 由志	
○石原 一弘		○浜田 太宏	
○石橋 修司		○林田 真也	
○今田 賢子		○華田 貴賀	
○宇治野 文弘		○橋本 名子	
○大宮 弘明		○春口 純輝	
○大森 明子		○樋口 昌匡	
○沖山 智代美		○久光 匡夫	
○尾越 久治		○平江 哲雄	
○甲斐 栄直		○廣町 真理子	
○梶原 山稔		○深田 俊治	
○片岡 貴弘		○藤井 裕士	
○神本 貴勝		○藤原 幸治	
○川本 忠貴		○藤田 眞一	
○川本 信博		○増尾 優一	
○木浦 幸香		○松田 元久	
○木原 文昭		○松田 好八	
○木村 直樹		○三好 靖子	
○桑野 弘樹		○村岡 康司	
○神口 三治		○森崎 弘敬	
○坂田 英裕		○山下 敬彦	
○坂田 裕里		○山本 治裕	
○追藤 智徳		○山本 裕子	
○佐川 智千代		○山本 裕司	
○重原 八久		○山本 美由紀	
○篠原 靖仁		○屋田 真一	
○末田 達也		○古田 保史	
○住戸 和弘		○古田 史彩	
○瀬上 寛司			
○田本 幹			
○竹本 幹			
○多々納 光			
○谷本 光			
○樽谷 光			
○中岡 川			
○中川 千			

建築学科(エンジニアリング) (87名)

氏名	就職(進学)先	氏名	就職(進学)先
○池田秀樹		○手嶋貴彦	
○石井明典		○出口純隆	
○石川公範		○東曜二	
○石川武志		○富岡昌誠	
○石田隆宏		○富永和宏	
○石濱希範		○友野啓治	
○大内豊範		○豊田行博	
○岡村昭男		○内全恵司	
○岡村紀生		○中岡康久	
○小川道崇		○中島祥司	
○織田勝志		○中野明浩	
○越智敏和		○中本一健	
○金永納人		○中岡和義	
○加根秀三		○長野久弘	
○河本敬英		○橋多勝之治	
○北川貴生		○波多田充也	
○古村敏也		○浜口博之	
○木村敏治		○浜井勝之	
○熊谷俊也		○藤田幸也	
○小菅正裕		○藤田吾	
○小寺洋昭		○藤田直光	
○小松大輔		○古見弘裕	
○小松克之		○本多崇弘	
○米谷真彦		○松浦昭智	
○小森雅		○三村孝之	
○五藤雅		○三村孝之	
○坂本雅		○宮里孝之	
○嶋岡雅		○宗重孝之	
○新江口健治		○村山利一	
○竹内重信		○毛利井和	
○竹本知弘		○安井内也	
○立石直生		○山内久嗣	
○田中伸宏		○山本高美	
○谷平政昭		○山吉智生	
○谷村正博		○雪光静三	
○田上慎太郎		○和多利田幸	
○樋屋		○和	

広島工業大学建築学科同窓会 「五三会」会則

第一章 総 則

- 第 1 条 本会は広島工業大学建築学科同窓会「五三会」と称する。
- 第 2 条 本会は本部を広島工業大学建築学科内に置く。但し、総会で必要と認めた場合に支部を置く事を得る。
- 第 3 条 本会は会員相互の交誼を厚くし、かつ母校建築学科の発展に貢献することを目的とする。
- 第 4 条 本会は前述の目的達成の為に下記の事業を行なう。
- (1) 集 会
 - (2) 会員相互の連絡並びに共助に関する事
 - (3) 会誌及び会員名簿の発刊
 - (4) 母校建築学科に対する精神的、物質的援助
 - (5) その他本会の目的達成に必要な事

第二章 会 員

- 第 5 条 本会は下記の者を以って組織する。
- (1) 正 会 員 広島工業大学建築学科卒業生のうち会費を納入した者
 - (2) 準 会 員 正会員以外の広島工業大学建築学科卒業生
 - (3) 学生会員 広島工業大学建築学科在学生
 - (4) 特別会員 母校職員及び旧職員
 - (5) 名誉会員 本会の発展に貢献し、名誉会員としてふさわしいと総会で認められた者

第三章 役 員

- 第 6 条 本会は下記の役員を置く。
- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----|
| (1) 名誉会長 | 置くことができる | (2) 会 長 | 1 名 |
| (3) 副 会 長 | 2 名 | (4) 会 計 | 2 名 |
| (5) 会計監査 | 2 名 | (6) 幹 事 長 | 1 名 |
| (7) 幹 事 | 若干名 | (8) 書 記 | 2 名 |
| (9) 評 議 員 | 各卒業年度に若干名 | | |
- 第 7 条 本会の役員は次の方法で決める。
- (1) 名誉会長は総会をもって推す。
 - (2) 会長・副会長・幹事・会計・会計監査・書記・評議員は総会で正会員の中から選ぶ。
 - (3) 幹事長は幹事の中から互選する。
 - (4) 幹事は総会の議決により正会員の中から委嘱する。
- 第 8 条 各役員はそれぞれ次の任務をもつ。
- (1) 会 長 本会を代表し会務を統べる
 - (2) 副 会 長 会長を助け支障がある時は代理する
 - (3) 会 計 会計事務に当る

- (4) 会計監査 会計を監査する
- (5) 幹事長 会務を主宰する
- (6) 幹事 会務を処する
- (7) 書記 書記事務に当る
- (8) 評議員 会務を評議する

第 9 条 役員の任期は一ケ年とし再任をさまたげない。但し欠員は役員会にはかり補充し、これによって就任した者の任期は前任者の残りの期間とする。

第四章 顧問

第 10 条 この会に顧問若干名をおく
 (1) 顧問は総会の議決により適任者を委嘱する
 (2) 顧問は会の諮問に応じる

第五章 会議

第 11 条 会議を分けて定期総会、臨時総会、役員会及び事業委員会とする。

第 12 条 総会は最高の議決機関で毎年 1 回開く。臨時総会は役員会が必要と認めた時会長が招集する。

第 13 条 総会は次のことを決める。
 (1) 会則の変更と改正 (2) 決算及び予算
 (3) 役員の改選 (4) その他重要な事

第 14 条 役員会は会長が必要と認めた時招集し、次のことを決める。
 (1) 総会に附議する原案 (2) この会の運営に関する諸事項
 (3) 事業委員会の組織 (4) その他緊急事項の協議

第 15 条 事業委員会は必要に応じて幹事により組織し、第 4 条に掲げる事業についてその事務を処する。

第 16 条 会議の議決は会員の参会者の過半数をもって決定し、賛否同数の時は議長がこれを決定する。

第六章 会計

第 17 条 この会の経費は会費、寄付金及びその他の収入をあてる。
 (1) 会員は入会金と終身会費として、入会時 10,000 円を納入しなければならない。
 (2) 学生会員は在学期間の会費として 3,000 円を納入しなければならない。
 なお、学生会員の会計は本会計より独立させる

第 18 条 その会の会計年度は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終る。

第七章 委任事項

第 19 条 この会則に定めのあるもののほか、必要な事項は役員会においてこれを定める。

付 則

終身会費については、昭和 58 年度から施行する。

[広島工業大学建築学科
教員及び非常勤講師名簿]

〔建築学科教職員・専任教職員〕

氏 名	住 所	郵便番号	電話番号
篠原道正	教 授		
椋代仁朗	"		
中尾好昭	"		
佐藤立美	"		
丹羽博亨	"		
水田一征	"		
森保洋之	"		
坂田泉	"		
喜久川政吉	"		
天満祥弥	助 教 授		
高松隆夫	"		
佐藤洋	"		
菅原辰幸	"		
西川加禰	"		
中村隆夫	"		
野添久親	"		
廣川協一	"		
清川誠良	"		
手越義昭	講 師		
大林真	技術職員		

〔非常勤講師〕

小野泰	
入野忠芳	
有馬秀宣	
花輪恒	
川田潤	
松本静夫	
村上徹	

平成7年度総会のお知らせ

日 時 平成7年4月22日(土曜日)
五三会総会……午後13:00
場 所 広島工業大学 新3号館417号室

同窓会30周年記念総会・講演会・祝賀会御案内

日 時	平成7年4月22日(土)	場 所	広島工業大学鶴記念体育館
	14:00 30周年総会		〒731-51 広島市佐伯区三宅2丁目1-1
	15:00 記念講演会		TEL(0829)21-3121(代)
	16:00 祝賀会	会 費	3,000円

〔連絡先〕
五三会事務局
広島市佐伯区五日市町三宅二丁目1番1号
広島工業大学建築学科菅原研究室内
(〒731-51) ☎0829-21-3121(代)

広島工業大学建築学科同窓会誌
「五三会」第22号

編集責任者 中 塚 晴 夫
発行責任者 三 上 明 夫
企画・製作 ハローデンイン
発 行 平成7年4月